

多文化体験プログラム えいごであそぼう!

〈森田、永平寺、AOSSA、仁短祭〉

生活科学学科 生活情報専攻 准教授 野本 尚美

2019年度は以下の日程で幼児や小学生を対象とした英語教室(多文化体験プログラム)を開催させていただきました。

(1) AOSSA子育て支援室「えいごであそぼう」

- 5/25(土) 10:30-11:30
- 11/16(土) 10:30-11:30

(2) 森田地区児童館における英語教室

- 8/ 8 (木) 13:30-14:30 すみれ児童館
- 8/19(月) 13:30-14:30 森田第1児童クラブ
- 8/21(水) 13:30-14:30 森田第2児童クラブ
- 8/23(金) 10:30-11:30 森田第4児童クラブ
- 8/23(金) 13:30-14:30 森田第3・第5児童クラブ

(3) 仁短祭多文化体験プログラム

- 10/19(土) 10:00-15:00

(4) 永平寺町幼稚園・幼児園における英語教室

- 10/21(月) 10:30-11:30 松岡幼稚園
- 10/28(月) 10:30-11:30 御陵幼児園
- 11/ 1 (金) 10:30-11:30 松岡西幼児園
- 11/25(月) 10:30-11:30 上志比幼児園

(5) 小学校高学年対象英語教室(英語劇)

- 11/30(土)、12/1(日)
- 両日とも13:00-15:00 森田公民館

AOSSA子育て支援室における公開講座では、食べ物や顔のパーツなど日常生活の中で使う英単語を中心に学びました。またそれらの英単語を用いてご自宅でもおままごとやごっこ遊び等で活用してもらえるような教材作りを心掛けました。特に11月の講座で用いたフェルト手芸の野菜は、英語サークルの学生たちと試行錯誤を重ね、こつこつと手縫いした思い出の教材です。幼児が英語を学ぶ際



AOSSA 子育て支援室 5月の講座の様子

には、身近な人との心のこもったコミュニケーションを体験することが大変重要であると考えます。私たちが作成した教材がその一助になれば嬉しく思います。



AOSSA 子育て支援室 11月の講座用に作成した教材

森田地区児童館における英語教室では、「世界の遊びを体験しよう」というテーマでアメリカ、ネパール、スウェーデンの遊びを取り上げ、それぞれの遊びの中で使う英単語を学びました。特にクップというスウェーデンの遊びは単純そうに見えてなかなか難しく、チーム戦で盛り上がりました。子どもたちの異文化に対する理解を深められるような活動を今後も続けていきたいと考えています。



クップ(スウェーデンの遊び)を体験する子どもたち

仁短祭では「動物の鳴き声の表現」を取り上げました。子どもたちにはまず英語の音声を聞かせて何の動物の鳴き声を表しているか考えてもらい、その動物が描か

れたカゴにボールを投げてもらいました。例えば馬の鳴き声は、日本語では「ヒヒーン」と表されるのが一般的ですが、英語では「neigh (ネーイ)」と表現します。このような違いについて子どもたちだけでなく保護者の方にも興味を持っていただき、多くの方にご来場いただきました。



仁短祭の様子

永平寺町の幼稚園・幼児園では「幼児向け英語教材」と「異文化理解教育」を卒業研究のテーマとした学生4人が講座を担当させていただきました。英語教材については保護者の方々のご意見も参考にした上でオリジナルの教材（英語カルタ）を作成しました。また、異文化理解教育では韓国の「投壺（とうこ）」という遊びを取り上げ、チーム対抗戦で楽しんでももらいました。幼児を前にして講座を行うことは学生にとって初めての体験で少々戸惑う場面も見られましたが、安全面に配慮した環境設定や、幼児が家族や友達とのコミュニケーションを通して英語を学ぶことの重要性について深く学ぶことができたと思います。幼稚園・幼児園の先生方、またアンケートにご協力いただきました保護者の方々に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。



学生が作成した英語カルタを手渡している様子



韓国の遊びについて説明している様子

今年度初めての試みとして、小学校高学年（4、5、6年生）を対象とした2日間の講座をゼミ生2人が担当させていただきました。小学生のみなさんに“気持ちを込めて英語を話す”という体験をしてもらいたいと考え、森田公民館の皆様にご協力いただき、英語劇「The Shoemaker and the Elves（こびとのくつや）」を参加児童7人で練習しました。短い時間で英語のセリフを覚えることはとても難しかったと思いますが、全員が自分のセリフをしっかりと暗記し、最後に保護者の方々の前で堂々と英語を使って役を演じる姿には大変感動しました。保護者の方からは「家でも練習し、英語に興味を持ったようだった」などのご感想をいただきとても嬉しく思いました。ご協力いただきました公民館の皆様、そしてご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。



発表を終え保護者の前で挨拶をする子どもたち